



○ 草の根パートナー型

平成21年度第一次補正予算による草の根技術協力事業 緊急経済危機対応-包括型採択内定案件

<b>I. 提案事業の概要</b>	
1. 国名	中華人民共和国
2. 事業名	中国内モンゴル自治区アラシャン盟における生態環境保全及び持続可能な発展のための農牧民研修と社会参加促進事業
3. 事業の背景と必要性	中国アラシャン盟において、過放牧や農地乱開発によって、砂漠化が急速に進み、地下水資源が枯渇し、地域の生態環境が著しく悪化している。生態環境の悪化が農牧民の生活、生産と生存を脅かし、農牧民の諸生産活動が更なる生態環境破壊を招いている。農牧民が生態環境を強く意識し、粗放的で生態環境破壊型の生産活動から、生態環境と調和された生産方式への転換と、それに伴う生活の向上を実現するために、農牧民に対する技術と技能の研修が求められている。  同時に、アラシャン地域の生態環境問題の規模と深刻さから、農牧民だけ、アラシャン地域住民だけでは対処できないため、域内外の行政機関、企業団体及び市民ボランティアと連携して、幅広い社会参加を促進するための環境教育、実践体験及び生態研修活動を行う必要がある。
4. 事業の目的	提案事業は、提携諸研究機関と協力して地域農牧民の生態産業への転換に必要な技術と技能の研修活動を行い、農牧民の生活向上と生態環境の保全を図りながら、より広範囲の社会参加を促進するための環境教育、実践体験と生態研修活動の枠組みを構築し、アラシャン地域の生態環境の修復、再生及び社会の持続的な発展に貢献する。
5. 対象地域	中国内モンゴル自治区アラシャン盟
6. 受益者層	<生態技術調査研究事業> アラシャン盟農牧民4万余人 <農牧民研修事業> アラシャン盟農牧民約1500世帯 <社会参加促進事業> アラシャン盟住民全体
7. 活動及び期待される成果	1. <活動> 生態技術の調査研究、実験開発、蓄積普及の協力体制の構築 <成果> 15の研究機関と提携関係を締結し、10コースの生態研修プログラムが編集された。 2. <活動> 生態産業育成と発展の研修制度の定着 <成果> 50回1,500人世帯の農牧民を対象に技術研修と実地指導を行い、生産性と水利用効率が向上し、所得増加率が町住民並み20%に達する。 3. <活動> 生態意識の浸透、市民自主参加の促進と環境人材の育成 <成果> 事業期間中に、15の行政機関の公務員500人、20の企業団体職員等500人及び一般ボランティア1000人に対する教育、体験と研修を行い、広範囲の社会参加を実現する。
8. 実施期間	2010年2月～2011年9月（1年8カ月）
9. 事業費	50,000千円（予定）
10. 事業の実施体制	日本側：プロジェクトマネージャ1名、調整員4名、現地業務補助員6名 中国側：現地調整、調査研究、農牧民研修、社会参加各担当1名
<b>II. 実施団体の概要</b>	
1. 団体名	特定非営利活動法人 世界の砂漠を緑で包む会
2. 活動内容	砂漠化防止のための造林緑化、調査研究、農牧民研修、環境教育と国際交流活動